

## ルカさんのタイ留学レポート①

こんにちは！私はタイのスコータイに10ヶ月間派遣されていました。皆さんご存じの通りタイはとても暑いですが、でもなめてはいけません、なんと40℃とか普通に超える暑さを体験できます。またタイは野良犬が多くその暑さのせいで今年は野良犬が道ばたで死んでしまうこともよくあります。タイ人は皆優しくてノリが良くまた日本のアニメが好きの人が多かったです。私が日本人と知るとすぐ「こんにちは」とか「ありがとうございます」などの簡単な日本語を使って私に話しかけてくれます。私が住んでいたスコータイには世界遺産に登録された建造物が多くありました。なので、その建物がある公園でお祭りが毎年あります。それは、1年に1回行われるわけではなく、2、3回普通にあります。回ごとにテーマが異なり、文字を作った人のためのお祭りなどユニークなテーマの祭りもありました。スコータイには、最初のタイ文字作った人の出身地であったり、歴史的な建物も多数あったり、スコータイだけの食べ物もあって凄いとこに派遣させてもらったと思っています。

### ○タイの食卓

同じアジアでもタイは日本とは全然違います。まず、皆さんも海外研修で訪れたマレーシア的な感じで、タイも手でご飯食べると思っていたので慣れるのに大変かもしれないと思っていましたが、タイはフォークとスプーンを使って食事をします。ヌードル系はお箸で食べます。また、辛いのが好きな人は唐辛子を入れたり甘いのが好きな人は砂糖、酸っぱいのが好きなら酢など、色々な調味料を使って自分なりの味に仕上げます。

### ○タイ人は朝風呂好き？

タイは朝風呂する習慣があるので朝が苦手な私はとてもきつかったです。朝風呂が好きな人はタイがっていると思います。

### ○タイの学校について

タイの学校は、親がよりいい学校に子供を通わせたいので遠くてもお金がかかっても通わせるそうです。私が通っていたタイの学校は3000人の中高一貫の大規模校でした。タイのほとんどの学校が中高一貫のシステムを取り入れています。科目ごとに校舎が分かれていて一つの学校に最低でも五つの建物があり私の学校は分かりやすいようにピンク、水色などカラフルに色分けされていました。また、クラスも多く11クラスほどあります。習得できる言語も英語、日本語、中国語、韓国語がありました。ほかの学校では、フランス語やドイツ語、ラオスに近い地域ではラオス語も習っていたそうです。自分の教室がなく、教科ごとに移動して授業を受けます。タイの学校教育良いところは、2つあって、1つ目がどの家庭にもインターネット環境とパソコンがあり、先生と生徒がFacebookを通して課題を見たり提出したりまた、急な連絡も伝えることができます。2つ目は、多言語の授業はネイティブが教えてくれます。例えば日本では外国人の先生が教える時でも絶対に日本人の先生がそばにいます。それに対し、タイではフィリピン人の先生しか教室にいません。それは、生徒に積極的(強制的)に英語を話すようにさせたいからだそうです。また、日本では黙って授業を行うことが多いですがここでは逆に黙ることがあまりなかったのほとんどディスカッションで授業が進められていました。

### ○タイでの一番の思い出

私がタイに来て1ヶ月経ったときに学校の行事で一番大きな行事がありました。その行事は「ガラシー」といって、色別の5つのチームに分かれて運動会みたいな感じで色々な競技を1週間競い合う行事でした。初日には始まりのパレードがあって私もタイの伝統衣装を着て、歩かせてもらいました。準備が朝の3時半からで化粧したり髪の毛セットしたり衣装着たりで4時間もかかったことに驚きました。パレードは町の中心から学校までの道のりを歩きました。途中までは余裕をもって歩けてましたが、途中から暑いし足は痛いし、とてもきつかつ

# 留学体験記

From 向陽高等学校 SSH 通信 QUEST FOR TRUTH

**No. 5**

研究推進部  
国際交流係

2020.6.22

たです。でも、ほかに楽器を演奏しながら歩いている友達と励ましあいながら最後まで歩くことができよかったしい経験ができました。競技にはバスケに出させてもらいました。タイ人は1日前とか直前にならないと準備しない人が多く私のバスケチームは一回しか練習しないまま本番を迎えました。相手が学校1強いチームでしかもこのチーム地区大会で優勝した人を集めたチームだということを直前に聞かされてもう言葉が出ませんでした笑笑。もちろん負けましたが、点を決めることができました!!そのうえ、一回しか試合してないのに3位に入りました!!嬉しすぎましたね。最終日は「スタンド」っていうチアみたいなダンスをチームごとにテーマを決めて競い合いました。スタンドはギラシーの「とり」でどのチームもギラシーの1か月前から練習してて1日前からしか練習しないタイ人がこんなにもやる気を出しているのにびっくりしました。私も、スタンドに参加させてもらいました。私のチームはチームカラーが水色で水色に関連した象から象がシンボルの軍隊というテーマで歌や振りを教えてもらいました。しかし、タイに来てまだ1ヶ月しかたってない私にとって言葉が分からなかったのととてもきつかったです。最初はコミュニケーションがまず取れないので身振り手振りしかできなくて当たっているのかも間違っているのかも確認することができなかったのでタイ語を頑張らないとついていけませんでしたがでも段々練習していくうちに教えてくれる人(高3)が英語を調べてきてくれて英語で教えてくれたり簡単なタイ語が理解できて来たのでスムーズに振りを覚えることができました。歌も毎日友達と歌いながら教室移動したので最後にはさびはどうか歌えるようになり嬉しかったです。スタンドの発表の1日前にリハーサルを先生の前でやった時に私たちのチームは息もあっていない、振りを覚えてない人もいてことで5チーム中の5位、最下位って言われたので、みんなショックで泣いて、この日は8時までずっと合わせて練習していました。正直私は、この時タイ語が分からなくて皆が何で泣いているのかわからなかったです。笑笑 本番の日、スタッフも一緒に円陣作って気合を入れました。振りも間違えずに本番が終わって皆で手握って祈るような気持ちで結果を待ちました。そして結果はなんと最下位ではなく2位でした!!!最下位からの!!もう嬉しすぎて泣きました。タイに来て初の涙は嬉し泣きで始まったので嬉しかったです。しかも僅差で聞いて、「やるじゃん私たち!」って思っちゃいました笑笑 もう、感謝ですね。スタンドに誘ってくれた先生、タイ語が分からないのに最後までしっかり教えてくれたスタッフ、友達、みんなに!!ギラシーが私のタイでの一番の思い出です。

ギラシー：クラスメートたちと



スコータイ

